

# 事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

## I 会社の現況に関する事項

### 1. 事業の経過およびその成果

平成23年3月11日の東日本大震災がもたらした甚大な被害により、会社・地域を取り巻く環境が激変しました。復旧には莫大な費用が必要となりましたが、国・県・および市町村等の支援により、平成23年11月3日より災害復旧工事を開始し、昨年4月5日に南リアス線で、6日には北リアス線全線で運行を再開しました。

またこの間において、クウェート国からの支援を活用した新型車両8両の導入をはじめ、全国・海外から多大なる支援を頂戴しております。

平成26年度の営業実績は、輸送人員では全線運行再開により、個人・団体の観光客の利用が好調だったこともあり690,776人と前年より19万人増えており、運輸収入も193,889千円増の420,652千円と伸びております。

関連事業は、旅行部門においては震災学習列車や修学旅行が好調なこと、物産部門では運行再開記念商品及びギフトの増収により前年比9.3%増、経常収入は前年比158%となりました。

経費削減に努めましたが、経常費用は人件費で新卒2名の採用により前年比7.4%増、全線運行再開により修繕費・動力費等の増により経常費用は前年比15.9%の増加となりました。その結果、経常損失は▲102,543千円で対前年より111,285千円の改善、当期利益においては前年の赤字補填により86,831千円と対前年より138,003千円改善となりました。

経常収入・経常利益の状況

(単位：千円)

項目	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績	前年増減	前年比	計画増減	計画比
運輸収入	226,763	333,912	420,652	193,889	185.5%	86,740	126.0%
運輸雑収	33,114	30,000	32,998	-116	99.6%	2,998	110.0%
関連事業収入	88,121	75,000	96,382	8,261	109.3%	21,382	128.5%
経常収入	347,998	438,912	550,032	202,034	158.0%	111,120	125.3%
経常費用	562,826	584,104	652,575	89,749	115.9%	68,471	111.7%
経常損益	-214,828	-145,192	-102,543	111,285	47.7%	42,649	70.6%
特別利益	7,525,101	2,126,072	2,108,827	-5,416,274	28.0%	-17,245	99.2%
特別損失	7,359,386	1,925,000	1,909,975	-5,449,412	26.0%	-15,025	99.2%
法人税等	2,058	2,200	9,477	7,419	460.5%	7,277	430.7%
当期利益	-51,172	53,680	86,831	138,003	269.8%	33,151	161.7%

## 2. 営業の概況およびその成果

### 輸送実績

(単位：人／千円※税抜)

項目	26年度実績	25年度実績	増減	前年比	22年度実績
乗車人員	690,776	497,525	193,251	138.8%	851,456
(北リアス線)	(513,270)	(420,500)	(92,770)	(122.1%)	(617,750)
(南リアス線)	(177,506)	(77,025)	(100,481)	(230.5%)	(233,706)
運輸収入	420,652	226,763	193,889	185.5%	322,534
(定期券)	(53,568)	(47,338)	(6,230)	(113.2%)	(92,698)
(一般個札)	(207,075)	(94,771)	(112,304)	(218.5%)	(164,456)
(観光個札)	(20,521)	(12,551)	(7,970)	(163.5%)	-
(一般団体)	(65,217)	(34,873)	(30,344)	(187.0%)	(16,062)
(観光団体)	(74,271)	(37,230)	(37,041)	(199.5%)	(49,318)

#### (1) 安全安定輸送への取組

##### ① 安全対策事業

- ・地域公共交通確保維持改善事業  
陸中野田～久慈駅間通信ケーブル更新  
南北リアス線風速監視装置増設工事（盛川橋りょう外3カ所）
- ・設備改修工事（高圧受電設備機器取換工事、引込受電盤改修工事）
- ・南北リアス線軌道・電気設備保守工事

##### ② 保安

- ・南北リアス線運行部合同での地震、津波を想定した実車訓練、非常呼集訓練、緊急地震速報訓練および年末年始安全総点検を実施
- ・外部訓練会への参加（会津鉄道・青い森鉄道・IGRいわて銀河鉄道・東北鉄道協会）
- ・会社独自に、地震、大雨に対応した特別巡回および沿線の支障木伐採を実施

#### (2) 支援の状況

- ・地域公共交通確保維持改善事業（バリア解消促進事業） 121,411千円
- ・運営費補助（設備維持補助） 135,400千円
- ・前年度震災関連損失補助 65,672千円
- ・災害復旧事業費補助 1,713,701千円
- ・南リアス線恋し浜旅客通路設置事業 66,243千円

#### (3) 鉄道事業営業概況

##### ① 運転状況

駅間	宮古～久慈	普代～久慈	田野畑～久慈	盛～釜石
列車本数	22本	1本	2本(*)	18本

(\*) 田野畑～久慈間は土休日運休

- ② 企画列車運行
  - ・新型レトロ車両「春風しおさい号」(南リアス線：4月～6月土休日)
  - ・新型お座敷車両「北三陸号」(北リアス線：4月～10月土休日)
  - ・レトロ車両「さんりくしおさい」(北リアス線：7月～11月土休日)
  - ・北リアス線～JR山田線直通「さんりく北リアス号」相互乗入(8月)
  - ・「こたつ列車」(北リアス線：12月～3月土休日)
  - ・大船渡つばきまつりのPR列車「つばきまつり号」(南リアス線：1月～3月土休日)
- ③ 主なイベント列車
  - ・花見カキ列車復活運行
  - ・初日の出号、初詣号
  - ・ちょっと贅沢なレトロ列車(ランチ&スイーツ)
  - ・盛駅主催「婚活列車」「歌声列車」等
- ④ 主な外部団体とのコラボレーション列車
  - ・ビール飲み放題の「アサヒスーパードライ号」(アサヒビール)
  - ・ラッピング車両「キット、ずっと2号」ラストラン(ネスレ日本)
  - ・「第2回キッズジオマスタートレイン」(三陸ジオパーク推進協議会)
  - ・遠野郷土料理とどぶろく飲み放題の「遠野どべっこ列車」(遠野ふるさと公社)

#### (4) 関連事業営業概況

- ① 旅行業
  - ・着地団体：震災学習列車(275団体 11,130名)、被災地フロントライン研修(47団体 1,342名)、大船渡港入港の大型客船オプションツアー等を催行
  - ・一般団体：岩手県漁港漁村協会の「全国漁港漁村大会」参加ツアー、沿線市町村議会の先進地視察研修等を手配
  - ・教育団体：中学校の修学旅行(宮古市立第二中学校、宮古西中学校、津軽石中学校、崎山中学校、岩泉町立小本中学校、計5校 231名)、普代中学校神楽同好会仙台公演等を実施
  - ・募集团体：三陸ジオパークモニターツアー、恐山参拝団等を催行
- ② 物産企画
  - ・商品開発：全線運行再開記念グッズ(島越～田野畑駅間被災レール・カレンダー・鉄道ダンシセット)、煎り酒、さんてつ復興ロール、三鉄海鮮鍋等を新たに開発販売
  - ・ギフト等：新規顧客の拡大により、お中元を中心とした夏ギフト、お歳暮を中心とした冬ギフトは、ともに販売目標額を達成
  - ・支援販売と主な外部イベント販売：
    - クレディセゾンによるマクラギプレート販売、キットずっとカフェ、けせん希望ストリート(東京都)、横浜高島屋(神奈川県)、東北鉄道フェスティバル(仙台市)、鉄道フェスタ in Zホール(奥州市)、大型客船入港イベント(大船渡市)等での物産販売およびPR活動実施

### 3. 対処すべき課題

平成 23 年 11 月より国・岩手県および沿線市町村とで締結した三陸鉄道災害復旧事業に基づき災害復旧工事を開始し、昨年 4 月に南北リアス線全線運行再開となりました。

さらに、本年 12 月には復旧事業の協定書に基づき会社が所有している車両以外の鉄道事業用減価償却資産を沿線市町村に寄付し、鉄道事業に使用するため会社が無償で貸付を受けることとしました。

しかし、これはゴールではなくスタートと捉えています。沿線市町村によっては、駅周辺に地域住民の方々が戻ってくるまで相当の時間が必要です。加えて、震災前からの少子高齢化社会の進展による沿線人口の減少、モータリゼーションの浸透など、経営面においては、むしろこれからの方が厳しい状況で、今後は、路線維持に向けての的確な対応が求められます。

また、本年 3 月には JR 山田線（宮古・釜石間）の「JR 東日本からの支援を前提に、山田線の三陸鉄道による南北リアス線との一体運営」についての基本合意書及び覚書を JR・岩手県及び沿線市町村と締結しました。今後会社として JR 山田線の鉄道復旧後の移管に伴い、経営の効率化を前提に地域住民の地域交通としての役割を果たすこととなります。

平成 26 年 3 月に認定を受けました「鉄道事業再構築実施計画」により、安全性・利便性を軸に、投資計画・経費構造を抜本的に見直し、経営環境の現状を踏まえて、今後は「安全運行の創造」「顧客価値の創造」「共通価値の創造」を目標とし、沿線市町村の復興計画と整合を図りながら、経営改善に取り組んでまいります。

### 4. 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は 193,225 千円であり、その内容は次のとおりです。

(1) 地域公共交通確保維持改善事業（バリア解消促進事業）	121,411 千円
(2) 恋し浜旅客通路設置事業	66,243 千円
(3) 高圧受電 設備更新	5,571 千円

なお、当期申請し 27 年度に実施する設備投資の内容は次のとおりです。

(1) 運転保安設備整備	101,636 千円
※保安通信設備（通信ケーブル）田野畑～普代駅間新型更新	
(2) 橋りょう・トンネル改修工事	38,984 千円
※北リアス線橋りょう 5 箇所・トンネル 4 箇所	

### 5. 資金調達の状況

東日本大震災による運輸収入の大幅な減少により、経営が圧迫されるとともに復旧関係の各種事業を進めていることから、資金調達として岩手県より短期借入を行うこととしました。

平成 26 年度借入額 500,000 千円（平成 27 年 3 月 31 日岩手県に返済）

## 6. 直前3事業年度の財産および損益の状況

(税抜)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度
	(第31期)	(第32期)	(第33期)	(第34期) ※当事業年度
営業収益	249,527千円	306,732千円	334,151千円	528,494千円
当期純利益	△45,633千円	22,739千円	△51,172千円	86,831千円
1株当り当期純利益	△1,521円	757円	△1,705円	2,892円
総資産合計	1,540,049千円	4,672,552千円	2,398,122千円	530,186千円

## 7. 当事業年度の末日における主要な事業内容

- (1) 鉄道事業法による第1種鉄道事業およびこれに付帯関連する事業
- (2) 旅行業法による第2種旅行業
- (3) 物品販売業

## 8. 当事業年度の末日における主要な事業所等

本 社	宮古市栄町4番地
事業所 ・ 事業本部	宮古市栄町4番地
宮古駅	宮古市栄町4番地
施設管理部	久慈市川崎町10番20号
・ 北リアス線運行部	久慈市川崎町10番20号
・ 南リアス線運行部	大船渡市盛町馬場4番4号
釜石駅	釜石市鈴子町22番5号

※市町村等への業務委託駅 久慈駅・陸中野田駅・普代駅・田野畑駅・小本駅  
三陸駅・綾里駅・盛駅  
(休業駅：田老駅)

## 9. 従業員の状況

区 分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
男 子	62名	45.4才	22年10ヶ月
女 子	0名	—	—
計	62名	45.4才	22年10ヶ月

(注) この外、臨時雇用従業員が15名、および(独)鉄道運輸施設整備機構より出向受入れ1名、いわて復興応援隊より1名、岩手日報広告社より1名を受入れております。

## 10. 親会社等に関する事項について

当社は、岩手県および岩手県内市町村から発行済み株式総数の75.3% (22,600株)の出資を受けております。

※岩手県48% (14,400株) 沿線市町村19.3% (5,800株) 沿線外市町村8% (2,400株)  
当社は、岩手県知事が会長に就任しております。

## II 株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 100,000株
2. 発行済株式の総数 30,000株
3. 当事業年度末の株主 46名
4. 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
岩手県	14,400株	48.0%
宮古市	1,350株	4.5%
㈱岩手銀行	1,200株	4.0%
大船渡市	1,150株	3.8%
新日鐵住金㈱	1,000株	3.3%
東北電力㈱	1,000株	3.3%
一関市	700株	2.3%
久慈市	650株	2.2%
釜石市	650株	2.2%

### Ⅲ 会社役員に関する事項

#### 1. 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏名	他の法人等の代表状況等
取締役会長	達 増 拓 也	岩手県知事
取締役副会長	山 本 正 徳	宮古市長
取締役副会長	戸 田 公 明	大船渡市長
取締役副会長	遠 藤 譲 一	久慈市長
取締役副会長	野 田 武 則	釜石市長
代表取締役社長	望 月 正 彦	
取締役	伊 達 勝 身	岩泉町長
取締役	石 原 弘	田野畑村長
取締役	柂 屋 伸 夫	普代村長
取締役	小 田 祐 士	野田村長
取締役	柳 田 英 輝	岩手開発鉄道㈱ 代表取締役社長
取締役	大 井 誠 治	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
取締役	坂 下 政 幸	事業本部長
監査役	田 口 幸 雄	㈱岩手銀行 代表取締役頭取
監査役	石 塚 恭 路	㈱北日本銀行 常務取締役

#### 2. 取締役または監査役ごとの報酬等の総額

取締役の報酬総額 5,340 千円

監査役の報酬はありません。

### Ⅳ 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。